



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 291 号

(創刊 1988.12.14)

2013.12.01.

第 25 回統一パレード開催

高速横浜環状南線の白紙撤回を含む抜本的見直しを!!

25周年記念 2013年統一パレード&集会

絶好の秋晴れの中、記念すべき第 25 回統一パレードは、本郷台地球プラザからの A コースと神戸橋からの B コースに分かれ、途中松平氏によるトランペット演奏に励まされて行進し、桂台第 5 公園を集合会場として開催された(参加人数 249 名)。本パレードは、連協、庄戸合同、新設道路建設反対委員会、原宿の生活環境を守る会主催で毎年勤労感謝の日、11 月 23 日(祝)に開催されている。



(道路用空地の目立つ公田 IC 予定地を行進)

会場には、有志自治会による各種出店や田谷の野菜販売があり、食事しながらの集会となった。主催者挨拶に始まり、来賓挨拶、各団体の報告等がなされ、アコーディオン伴奏による合唱や、今回初めての試みとして行進時に掲げたプラカードコンテストが行われ、選考の結果ネオポリスが最優秀賞を獲得した。

最後に集会宣言(裏面参照)を採択し、シュプレヒコールを行い、無事お開きとなった。

(パレード写真は→<http://yahoo.jp/box/f1CfFx>)



(プラカードコンテスト)



(伴奏付の合唱)

集会準備にご協力頂いた GT 自治会の方々、パレード警備をして頂いた栄警察署に心よりお礼申し上げます。(事務局)

第 39 回道路全国連全国連絡集会

11 月 9 日～10 日の 2 日に亘って、国分寺の東京経済大学キャンパスに於いて全国連絡集会が開催された。

連協からは比留間会長以下、延 10 名が参加し「国土強靱化に対峙する新たなたたかいを」をメインテーマとして全国の仲間と道路問題の現実等意見交換を行った。

集会に先立つ 9 日の午後、全国の仲間と高尾山頂に登り圏央道と中央高速の JCT を俯瞰したが貴重な自然景観を壊すグロテスクな姿に唾然としたのであった。(事務局)



(高尾山より JCT を望む)

国交省等事業者との質問会議

国交省の事業評価監視委員会では、「事業を進めるにあたっては住民の理解を深めることが不可欠」との付帯意見を付けている。

現計画では種々の点で住民が事業内容を理解できる状態ではなく、事業者からそれらの質問を投げかけてきた。6 月 19 日、10 月 4 日に続き、11 月 15 日にも役員他 21 名が事業者からの回答と質疑の会議を朝日平和台で持った。今後も引き続いて説明責任を果たすよう事業者に求めていく予定である。(事務局)

横浜湘南道路と新風台

横浜湘南道路は、横浜環状南線の栄 IC/JCT から西方に延びて新湘南バイパスに接続される予定の 7.5km の自動車専用道路です。

平成 12 年 7 月に都市計画決定されましたが現在まで具体的な工事としては、全長約 5.4km のトンネルのほぼ中間地点にシールドマシン用の発進立坑工事が終わっているだけです。

私たちの住む新風台は、栄 IC/JCT から約 1.6km 程度西に位置しておりトンネル坑口から約 0.5km の距離です。



(図 1 横浜湘南道路と新風台の位置関係)

住宅地として開発される前は谷戸地形の水田で自然の湧水で十分な水の供給ができていたそうです。道路トンネルができることで地下水の遮断による地盤沈下の可能性、近くにできる換気所からの大気汚染、振動・騒音など生活環境への影響が懸念されます。

これらの懸念を払拭するため、ルートの変更、土被り改善、換気所への脱硝装置の導入などを要求して住民が安心できる措置、説明を求めて折衝しているところです。

また住民により冬期の発煙実験により逆転層ができることが確認され、谷戸地形であることも考慮しブルームパフでなく 3 次元流体モデルでの評価も要求しています。



(図 2 発煙実験で煙の淀む様子)

当初トンネルの東側は NATM で、西はシールドでしたが、昨年東側もシールドに変更されると言う改善も見られましたが、まだ住民が安心できるには程遠い状況です。

(新風台 三道)

対外活動報告

- 11/08 スーパー堤防の問題で江戸川区役所へ再質問書提出 (1 名)
- 11/09~10 道路連全国交流集 (於: 高尾山~東京経済大学、延 9 名参加)
- 11/15 国交省他事業者との質問会議 (於: 朝日平和台自治会館)
- 11/15 パレード申請警察 (2 名)
- 11/19 神奈川県公害審議会第 13 回調停
- 11/19 プレスリリース (横浜市役所 3 名)
- 11/20 三日月衆議院議員 (災害対策委員会理事) に要請 (1 名)
- 11/20 エコスタディー参加(参院会館 1 名)
- 11/23 第 25 周年統一パレード&集会

(第 25 回統一パレード宣言文)

第 25 回 統一パレード・集会 宣言

本年は高速横浜環状南線の都市計画決定から 18 年が経ちましたが、白紙撤回を含む抜本的見直しを求める沿線住民の声が無視して、事業者はなし崩し的に用地買収や工事設計を行ってきました。

また、事業者は、未だ多くの住民の現行案の見直し運動があるにもかかわらず、公田地区掘削試験工事や栄 IC/JCT 下部工事などの工事を発注し、来年に入ると本線工事を開始すると PR しています。私たちはこうした事業者の住民感情を逆なでするやりかたに断固抗議するとともに、今後事業者のいう「住民の理解と協力」に対しては字づら通りに受け止めることは出来ません。

「コンクリートから人へ」は 我々の運動に呼応したものでした。しかし現況は「人からコンクリート」へと後戻りさせたと云わざるを得ません。高速横浜環状南線の計画発表から 25 年以上も経った現在、日本は国家財政の負債が 1,000 兆円を超え国民に負担を求めざるを得ず消費税増税が行われることになりました。一方で、少子高齢化と急速な人口減少時代を迎え、かつての右肩上がりのような経済成長は望むべくもなく横浜環状南線のようなインフラ整備に貴重なお金を費やす余裕はありません。

無駄で、大気汚染・騒音振動・地盤沈下等の環境破壊をもたらす有害な横浜環状南線の建設計画が白紙撤回を含む抜本の見直しになるまで頑張りましょう。

子どもたちの未来のために！高らかに宣言します。

2013年11月23日

横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会(連協)
庄戸四町会合同道路委員会
新設道路建設反対委員会
原宿の生活環境を守る会

連協 25 周年記念パーティ予告

日時: 12 月 15 日(日) 11 時から 14 時
場所: あーすぷらざ内 「メルヘン」

落語を聞こう!

連協の歴史を学ぼう!

明日の英気を養おう!